

# ゆめ わらわ 夢 童

菅波 茂

今月3日から10日まで、フィリピンで世界平和パートナーシップ(GPSP)モデルの仕組みづくりを行った。GPSPは開かれた相互扶助のコンセプトを啓蒙普及する人道援助のプラットフォームである。具体的には平和構築、生活向上支援、教育支援、そして健康増進の4分野の10事業である。

フィリピンにおける最大のパートナーはフィリピン開発アカデミー(DAP)である。あらゆる分野における国家公務員の教育を担当している政府機関である。中心は上級副学長のグロリア・メルカド氏。昨年に開催されたAMD A設立30周年を祝う会に参加。GPSP教育分野の世話人をお願いした。

平和構築の分野について。彼女がキャプテンを務めるフィリピン海軍予備役の総合同司令本部にて、AMD AとGPSPの講義をすることによって連携を強化。女性国家開発安全保障組織の女性初のパイロットや艦長にお会いできたのは光栄だった。2013年11月に発生した台風30号によるレイテ島被災者救援活動の巡回診療を共にした、フィリピン保健省僻地医師派遣プログラムに所属する若い医師たちと再会。AMD AとGPSPの講義をした。

生活向上支援について。DAPには小規模融資の専門家もいる。「ア

## GPSP フィリピンモデル形成

フィリピン海軍予備役の総合同司令本部で、グロリア・メルカド氏(前列左から2人目)らと



米国際開発庁(USAID)後援である。彼らにAMD AとGPSPについて講義。奨学金支援に

関してはDAPが政府登録機関なので寄付に

対する税金控除がある。健康増進について

も、DAPでは多数の医療・保健

の専門家活躍。今月8日。レイテ医師

会急願の医師会館再建開所式に参加した。日本医師会、福山市医師会から

資金援助に本当に感謝されている。日本医師会

からは、06年ジャワ島中部地震被災地復興支援と

フィリピン進出の日

本企業の協力で、彼らを海外での人道支援活動にも派遣する予定だ。平和構築分野「フィリピン災害医療支援基金」ができれば望外の喜びである。

日本企業にとってはフィリピン社会への著明なる社会貢献である。

来月から、DAP内にGPSP事務所inフィリピンを設置して岩本智子さんが所長として派遣される。6カ月間の準備期間の後にGPSPフィリピンモデルが稼働する予定。インドネシアやベトナムでも同様である。GPSP事務所inマレーシアと共にネットワークとして動き出す。GPSP4分野10事業のプログラムを募金者の方々に選択していただける状況は、9月からと考えている。今後ともご理解とご支援をお願いできれば最大の喜びである。(AMD Aグループ代表)